

海域火山の最近の活動について*

The Recent Activities of Submarine Volcanoes and Volcanic Islands

海上保安庁
Japan Coast Guard

前回（第 126 回）に報告した以後（2013 年 10 月 13 日から 2014 年 2 月 16 日）の活動状況は以下のとおりである。

南方諸島方面

場所	年月日	調査機関等	活動状況
青ヶ島	2013/11/9	第三管区 海上保安本部	青ヶ島の南約 500m の場所に東西方向約 300m、幅約 100m の薄黄緑色の変色水域を認めた。 また、青ヶ島の南東岸に接して幅約 500m、沖へ約 150m の褐色の変色水域を認めた。
青ヶ島	2013/12/30	第三管区 海上保安本部	青ヶ島周辺に変色水域及び熱源等の特異事象は認められず。
西之島	2013/11/20	海上保安庁	西之島の南東約 500m の付近の概位 北緯 27-14.3、東経 140-52.2 に噴火活動を確認した(写真 1)。黒い火砕物で形成された新島を確認した。新島の形状は尖端方向を北北東にした長径約 300m(約 100m)、短径約 200m(約 70m) の卵型で、長径の軸線は北北東 - 南南西であった。噴火口は新島の南側に偏って存在し直径約 150m(約 30m) である。周辺海域に浮流しているパミス・スコリア等は認められなかった。噴煙の高度は約 2,000ft で南から南南東方向へ長さ約 10km で流れていた。噴火は約 1 ~ 2 分毎に発生し、この時には黒色噴煙となり、この持続時間は約 15 ~ 20 秒で、黒色噴煙以外の時間は連続的に白色噴煙を放出している。変色水は、新島を中心とした直径約 1,000m で北側を西之島に接した茶色の変色水域があり、その周りに緑色で幅約 2,000m ~ 3,000m、長さ約 10,000m の扇状となった変色水域を認めた。噴火口には高い熱源を認めたが、西之島及び変色水域には、特異な高温域は認められなかった。日没後、噴火により放出された火山弾が赤く発光しているのを確認した。 撮影した空中写真等を後日精査して得られた値は () の値で示す。

* 2014 年 3 月 24 日受付

場所	年月日	調査機関等	活動状況
西之島	2013/11/21	海上保安庁	<p>西之島の南東約 500m の付近の北緯 27-14.5, 東経 140-52.6 (概位) に噴火活動を確認した。新島の形状は、楕円形で昨日よりやや大きくなり、長径約 400m (約 200m) で短径は約 200m (約 100m) 島中央やや南東側に噴火口がある。この噴火口は火砕丘を形成しており直径は約 200m、高さは北側の火口縁で約 20~30m である。新島の表面には直径約 1~2m の岩石が多数確認できる。地表面からは数条の白色噴気があるのを確認した。噴火口からは、白色噴煙が高さ約 900m で南南東へ流れている。約 1~1.5 分間隔で黒色噴煙を伴う噴火があり、多数の約 1~1.5m の大きさの火山弾がコックステールを呈して放出されている。西之島の南側、新島付近から西へ約 1,000m、東へ約 1,500m、幅約 700m で北側を西之島に接する茶色の変色水域を確認した。西之島西岸から新島の東約 2,000m、幅約 1,200m の緑色の変色水を確認した。さらに西之島の南約 10km に直径約 1,000m の緑色の変色水域を確認した。</p> <p>撮影した空中写真等を後日精査して得られた値は () の値で示す。</p>
西之島	2013/11/22	海上保安庁	<p>西之島の南東の北緯 27-14.6、東経 140-52.7 の位置にあり、昨日より高く、大きさはほぼ変化がない。新たな火口 (第 2 火口) が昨日までの火口 (第 1 火口) の東に形成されている。第 1 火口からは白色噴気の放出は認められなくなり、青白色の火山ガスが高度約 600m で連続的に放出されている (写真 2)。2 つの火口からは、爆発的な噴火が交互あるいは同時に約 2 分毎に発生している。第 1 火口及び第 2 火口内には溶岩と思われる赤熱した部分を確認した (写真 2)。高度約 2,900m での温度計測の結果、第 1 火口は 183、第 2 火口は 250 以上 (計測限界オーバー) であった。</p> <p>噴火に伴う茶褐色の噴煙は、高度約 600m に達し、風によって南東に約 1,000m~1,500m たなびいている。島周辺の変色水域は色調に変化無いが、規模は縮小している。西之島の南約 10km の変色水域は認められなかった。</p> <p>なお、昨日 11 月 21 日に撮影することができた垂直写真を詳細に解析した結果、新島の位置は、昭和 48 年の噴火の際の陸上噴火開始位置と一致することが分かった。</p>

場所	年月日	調査機関等	活動状況
西之島	2013/11/24	第三管区 海上保安本部	<p>大きさはほぼ変化が認められないが、溶岩が北東方向に流出し、海岸に達して海岸付近で白い湯気をあげている。</p> <p>第 1 火口付近及び第 2 火口からは、約 2 分おきに噴火を繰り返しており、噴煙の高さや約 450m、噴煙の色は灰色である。火口内には赤熱した溶岩を確認することができる。噴火時には赤熱したものを含んだ火山弾を放出し、その着弾範囲は、新島及び付近海面の約 200～300mに達する。変色水域は、規模が縮小している。</p>
西之島	2013/11/26	海上保安庁	<p>新島の東側へ流れた溶岩流はさらに東へ約 50m伸びていることを確認した。新島の南側には大量の水蒸気が南東方向に約 800m、高さは約 30mで海面に接した状態で立ち上っている。水蒸気のため海岸線付近は確認できないが、東側へ流下した溶岩流とは、別の溶岩流が流れ込んでいる可能性がある。</p> <p>噴火は、4 分以下の間隔で間歇的または連続的に非爆発的な噴火をしている。噴火時には、黒色の噴煙を数十 m立ち昇らせることもある。また、火山弾やマグマの噴出が赤外画像では確認できても、目視では確認できないこともあった。噴火活動の頻度からマグマの供給レートには変化がないと思われる。</p> <p>新島の南側から茶褐色の変色水が、南東方向へ約 500 m幅約 100mで流れている。また、別の変色水は、西之島と新島の間から南西方向に約 600m、南東方向に約 400mで幅 30～50mで帯状に流れている。</p> <p>熱赤外画像の観測によると、溶岩流の噴出口は 2 箇所あり、それぞれの噴出口から溶岩流が東と南方向に向け流下しているのを確認した。</p>
西之島	2013/11/30	第三管区 海上保安本部	<p>新島の東側に流下している溶岩流は 26 日よりも拡張しているように見えた。溶岩流の縁付近には水蒸気の白色噴気があり、時折高く噴出するのが確認できた。</p> <p>新島の西側には茶褐色の変色水域を確認した。</p> <p>第 1 火口、第 2 火口から噴煙を確認した。噴煙は第 1 火口で約 1.5～2 分間隔で噴出、高さは約 20～30m程度の高さで時折約 100mの噴出があった。</p>
西之島	2013/12/1	海上保安庁	<p>新島の大きさは 11 月 30 日の三管区の報告に比べて大きさに顕著な変化は認められなかった。新島の火口からは青白色に噴煙が高さ約 2,000mに垂直に立ち昇ってお</p>

場所	年月日	調査機関等	活動状況
西之島	2013/12/ 1	海上保安庁	り、黒色噴煙を伴う噴火が時々あることを確認した。このときの黒色噴煙の噴煙高度は約 1,000mである。第 1 火口ではストロンボリ噴火を認めた。溶岩流は第 2 火口付近の溶岩流出口（第 3 火口）から流出しているのを確認した。溶岩流先端の海岸線には、ところどころ白色の水蒸気が認められた。茶褐色の変色水が新島西岸から西方向へ約 300m伸びており、別の変色水が本島西岸から薄い茶褐色で西方向へ約 200m伸びているのを確認した。
西之島	2013/12/4	第三管区 海上保安本部	高度約 5,900mから観測した結果、約 2 分毎に黒色噴煙を伴う噴火が認められた。なお、噴煙高度等の火山活動の詳細については飛行高度が高かったため確認できなかった。西之島と新島間の海域に薄い茶褐色の変色水が東北東～西南西方向に幅約 100m、長さ約 800mで伸びている。撮影された写真及び熱赤外画像を解析したところ、新たに南西方向への溶岩流が確認され、新島は従来の東方向、南東方向に加え南西方向へも拡大していることが確認できた。
西之島	2013/12/7	第三管区 海上保安本部	新島を高度約 2,100～2,400mで撮影した。目視観測では、詳細に確認できなかったが、赤外線画像では、約 20 秒毎に噴火が認められた。撮影された写真及び熱赤外線画像を解析したところ、12 月 7 日に南西方向へ伸びていた溶岩流は、さらに西方向へ流下しているのが確認された、新島の面積の概算値は約 0.074 km ² であった。
西之島	2013/12/13	海上保安庁	第 1 火口から約 5 分間隔で噴火し、黒色噴煙を高さ約 150m まで噴き上げており、薄青色の噴煙を垂直に高さ約 1,000m まで連続的に放出しているのが認められた。溶岩流は第一火口内の火砕丘の西側山腹から北西、西南西、南西の三方向に流下し、海面に接する先端部で盛んに水蒸気を上げている。第一火口の外側の東斜面には噴気帯ができており数箇所から白色の噴気を上げている。西之島と新島の間から南東方向に長さ約 800m、幅約 250m の茶褐色の変色水が分布している。なお、東側の溶岩流については、顕著な変化は認められなかった。
西之島	2013/12/16	海上自衛隊	依然活発な噴火活動を継続しており、島中央部に溶岩が認められる。新島の西半分の北西から南東にある溶岩流が拡大していることが認められる。
西之島	2013/12/18	海上自衛隊	火山活動は依然活発に継続していると認められる。島中央火口に赤熱した溶岩が認められる。山体西側の流出

場所	年月日	調査機関等	活動状況
西之島	2013/12/18	海上自衛隊	口からは盛んに溶岩が流出している。海岸での水蒸気の発生状況から撮影時の最新の溶岩流は北向きであると認められる。西之島と新島の間東西方向約 500m の海域には、茶褐色の変色水域が認められる。
西之島	2013/12/24	海上保安庁	<p>島中央部の火口、島中央部の火口の東斜面と新たに島中央部の火口の北北東側の 3 ヶ所の火口が認められた。</p> <p>島中央部の火口から薄い青白い噴煙が連続的に放出され、約 30 秒に 1 回程度、灰白色の噴煙が高さ約 50m まで吹き上げている。島中央部の火口の東斜面の火口からは、青白い噴煙が放出され、赤熱した溶岩が認められた。島中央部の火口の北北東にある新たな火口は、島中央部の火口と同様に約 30 秒に 1 回程度の頻度で灰白色の噴煙が高さ約 50m まで吹き上げ、連続的に白色の噴煙を放出している。</p> <p>溶岩流は北西に伸張し、西之島南岸の直前まで達している。なお南側～東側の溶岩流に大きな変化は認められない。新島の東岸の約 50m に渡って水蒸気が立ち上っていた。</p> <p>薄い青白色の変色水が新島から西へ幅約 50m、長さ約 1,000m の範囲に広がっている。また、本島と新島間の水路には茶褐色の変色水が認められた。</p>
西之島	2013/12/26	海上保安庁	<p>新島の北側に延びた溶岩流の先端の 2 ヶ所で西之島と接合しているのが認められた(写真 3)。</p> <p>北東方向へ延びている溶岩流は海面と接する先端で水蒸気を上げている。新島中央部の火口とその北北東にある火口(24 日の観測で新たに確認された火口)では、約 30 秒から 1 分程度の間隔で噴火し茶色の噴煙を高さ約 100m に放出している。</p> <p>新島中央部の火口からは青白色、新島中央部の火口の北北東にある火口からは灰白色の噴煙を連続的に放出している。中央火口の西側山腹にある溶岩流出口が赤熱しているのを確認した。</p> <p>新島北東岸に茶褐色で半径約 500m の半円形をした変色水、新島西岸に薄い茶褐色で半径約 300m の半円形に広がる変色水を認めた。</p>
西之島	2013/12/28	第三管区 海上保安本部	火口から数分毎に噴煙を上げ活動中であることを確認した。新島の北西及び北東岸では、白色の水蒸気が認められる。西之島と新島の接合部分は 2 カ所であることが

場所	年月日	調査機関等	活動状況
西之島	2013/12/28	第三管区 海上保安本部	確認できる。 西之島と新島の接合部東側海岸付近に褐色の変色水域と、新島南東岸に海岸に接合して半径約 150m の半円形の褐色の変色水域を認めた。
西之島	2014/ 1 / 3	第三管区 海上保安本部	新島にある 2ヶ所の火口から薄い褐色と灰白色の噴煙をそれぞれ放出しているのを確認した。 西之島と新島の接合部分は、12月28日と比べて長くなり、幅約 300m になっているのを認めた。溶岩流は、12月28日と比べて、新島の東側及び西側の両側に大きく拡張しているのを確認できる。 新島南東岸から東南東方向に幅約 200m、長さ約 800m に伸びる褐色の帯状の変色水域を認めた。
西之島	2014/ 1 / 12	海上保安庁	2つの火口が活動中であり、中央部の火口からは数分毎に噴火し灰色の噴煙を放出しているのを確認した。 中央部の北側の火口からは、連続的に白色の噴煙を高さ約 1,200m まで放出し、その火口周辺には白色の噴気が立ち昇っている。 前回調査の 12月26日と比べて、新島は溶岩流により、東西南北の4方向に拡大しているのを確認した。 新島東海岸から黄土色の変色水が、南東方向へ帯状に幅約 50～100m、長さ約 500m に渡って流出している。
西之島	2014/ 1 / 13	第三管区 海上保安本部	中央部の火口とその北側にある火口が活動中であり、噴煙が高さ約 1,500m まで達しているのを確認した。 溶岩流は昨日の観測時と大きな変化は認められないが、南側へ流下している溶岩流の先端部に白色の水蒸気が上がっているのが認められた。 新たに形成された陸地の東海岸の湾状地形及びその付近から黄土色の変色水が、南東方向から南方向へ向けて帯状に幅約 50～100m、長さ約 500m で流出しているのを確認した。
西之島	2014/ 1 / 16	海上自衛隊	中央部火口とその北側の火口が活動中であることが認められた。新たに形成された陸地の北東、南、北西の海岸線付近に水蒸気が認められた。
西之島	2014/ 1 / 17	海上自衛隊	2つの火口からは、薄い褐色の噴煙を放出している。 溶岩流は、水蒸気の発生状況から活動区域の北東側及び南東側の海岸付近に流下している。
西之島	2014/ 1 / 20	海上保安庁	火山活動は前回の 1月12日と比べて活発化しているのを確認した。

場所	年月日	調査機関等	活動状況
西之島	2014/ 1 / 20	海上保安庁	<p>中央部の火口からは連続的に青白色のガスを放出しており、約 1 ~ 1.5 分毎に灰色の噴煙を伴う爆発的な噴火を確認した。この爆発的噴火時には、空振を確認した。北側の火口からは、灰白色の噴煙を連続的に放出し、断続的に噴火しているのを確認した。</p> <p>2 つの火口からは噴火に伴い熔融状態の溶岩を噴き上げているのを確認した。溶岩流は、北東、南東、西方向へ拡大しているのを確認した。</p> <p>変色水域は、東岸の 11 月に活動していた古い溶岩流付近から濃い褐色の変色水が、南南東方向へ帯状に幅約 100m、長さ約 900m に渡って分布しているのを確認した。</p> <p>1 月 20 日で活動開始してから 2 ヶ月が経過し、依然活発な活動を継続している。その結果形成された面積は、活動開始時の 11 月 20 日と比較して約 67 倍に達していることが確認できた。</p>
西之島	2014/ 1 / 27	海上自衛隊	<p>2 つの火口から間欠的に薄い褐色の噴煙を放出しているのを確認した。</p>
西之島	2014/ 1 / 28	海上自衛隊	<p>火口の数 は 2 つあり、うち 1 つからは噴石が放出されている。溶岩流の一部は海へ流れているのを確認した。</p>
西之島	2014/ 2 / 2	第三管区 海上保安本部	<p>中央部の火口とその北側にある火口が活動中であることを確認した。溶岩流は、北東、南東、南西方向へ流下しているのが認められる。</p> <p>新島東海岸の湾内に黄土色の変色水域が分布し、湾口から南北方向へ幅約 300m、長さ約 2,000m で帯状に分布しているのを確認した。</p>
西之島	2014/ 2 / 3	海上保安庁	<p>2 ヶ所の火口は活動中であり、火口内に赤熱部を認めた。中央部の火口丘山体から白色の水蒸気が発生している。中央火口から薄青色の噴煙を放出しており、北側の火口からの噴煙は、薄褐色で高さ約 1,000m まで達し、北北東方向へ長さ約 4,000m 流れている。中央火口からは噴火活動は認められなかったが、北側の火口では、熱赤外画像でストロンボリ式噴火を認めた。</p> <p>溶岩流は新しい陸地部分の北西・南西・北東・南東の各方向へ延伸している。前回調査の 1 月 20 日と比べると、北西方向の溶岩流は約 50m 延伸し、旧島との接続部分が拡大した。また北東・南東方向の溶岩流はそれぞれ約 100m の各方向に流れ、湾状地形を形成している。褐色の変色水域が、北東・南東方向の溶岩流により形成され</p>

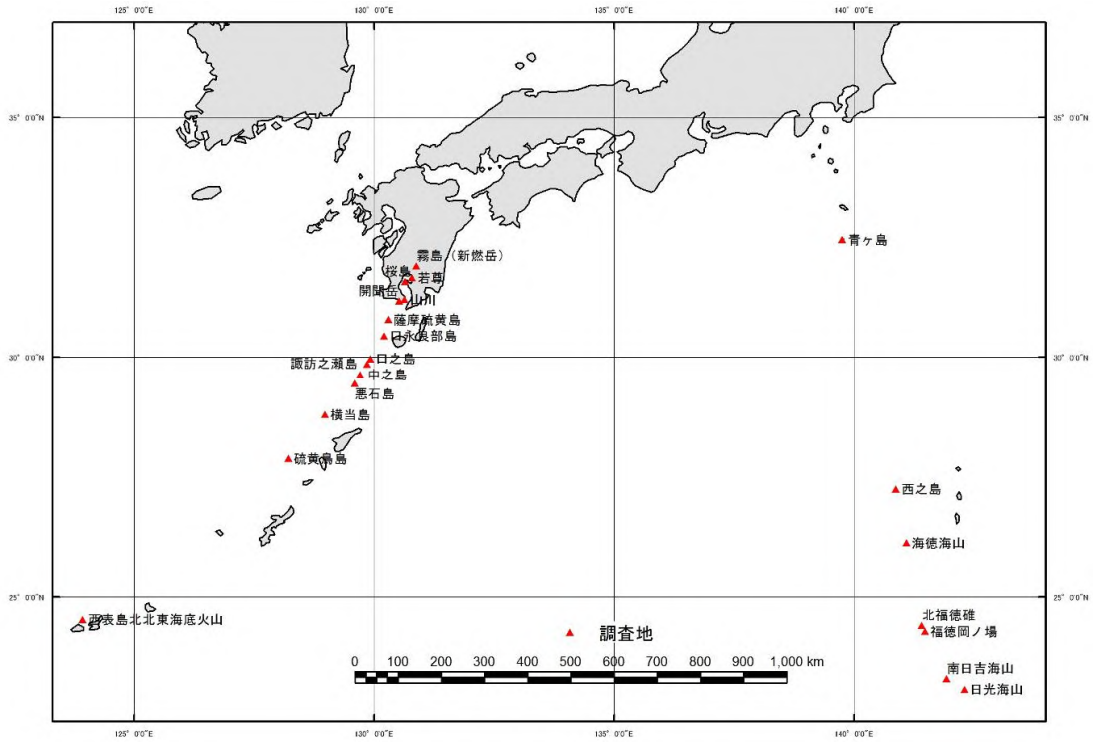
場所	年月日	調査機関等	活動状況
西之島	2014/2/3	海上保安庁	た湾内に分布し、湾口から東向きに約200mで扇状に分布している。さらに扇状の変色水域に連続して、薄い褐色の変色水域が帯状に西之島の東方向へ幅約300m、長さ約5,000mで分布し、ごく薄い褐色の変色水域が北東方向へ幅約400m、長さ約1,000mで帯状に分布している。
西之島	2014/2/10	第三管区 海上保安本部	中央部の火口とその北側にある火口が活動中であり、噴煙が高さ約1,500mまで達しているのを確認した。 新たな陸地の北東方向側に水蒸気が上がっているのが認められる。 新たな陸地の東海岸にある湾部に乳白色の変色水域が、また西之島及びその付近から薄い褐色の変色水が北東方向へ向けて分布しているのをそれぞれ確認した。
西之島	2014/2/11	海上保安庁	中央火口からは青白色の火山ガスが噴出している(写真4)。また、中央火口丘では、水蒸気が発生しているのを確認した。北側の火口ではストロンボリ式噴火を繰返し、ほぼ休みなく薄い褐色を帯びた白色噴煙を噴出し、噴煙は高度約1,000mに達し、東から北東方向へ約3,000mに渡って流れている。各火口内には、赤熱した溶岩を認めることができた。溶岩流は新しい陸地部分の北東・北・西・南の各方向へ流下し、北側の溶岩流は西之島にある池に達している。変色水域が、新しい陸地の東側にある湾内から褐色の帯状で東北東方向へ幅約100m、長さ約2,000mの範囲に分布しているのを確認した。熱赤外線画像の解析の結果、溶岩流は従来の流路に沿って、主に東方向及び南方向に流下しているが、中央部火口の東側及び南側では、新たな溶岩流が流下しているのが確認できる。新しい陸地の面積は、撮影した空中写真を計測した結果、約0.45km ² となった。
海徳海山	2013/12/16	海上自衛隊	変色水域等の特異事象なし。
福德岡ノ場	2013/12/16	海上自衛隊	福德岡ノ場の噴出点から東方向へ約1,850mに伸びる緑色の変色水域を認めた(写真5)。
福德岡ノ場	2013/12/28	第三管区 海上保安本部	変色水域等の特異事象なし。
福德岡ノ場	2014/1/13	第三管区 海上保安本部	変色水域等の特異事象なし。
南日吉海山	2013/12/16	海上自衛隊	変色水域等の特異事象なし。
日光海山	2013/12/16	海上自衛隊	変色水域等の特異事象なし。

南西諸島方面

場所	年月日	調査機関等	活動状況
霧島山	2014/ 1 /27	海上保安庁	新燃岳火口内の数ヶ所に白色噴気があるのを認めた。 新燃岳西側の割れ目噴気孔には、噴気等の特異事象を認めず。 高千穂峰の御鉢火口に噴気等の特異事象を認められなかった。
若尊	2014/ 1 /27	海上保安庁	特異事象なし。
桜島	2013/11/15	第十管区 海上保安本部	昭和火口からの噴火と南岳山頂からの白色噴気を確認した(写真6)。 噴火に伴う明白灰色の噴煙は、南南西側へ流れ、高さは約1,000mであった。
桜島	2014/ 1 /27	海上保安庁	昭和火口から噴火と白色噴気を確認した。 噴火に伴う噴煙は、明白灰色で、ほぼ垂直に上昇し、高さは火口縁から約1,000mであった(写真7)。
開聞岳	2013/11/15	第十管区 海上保安本部	特異事象なし。
開聞岳	2014/ 1 /27	海上保安庁	特異事象なし。
薩摩硫黄島	2013/11/15	第十管区 海上保安本部	山頂付近は雲のため、火口付近の撮影は、できなかった。島南側の稲村岳南東海岸から北側の平家城の海岸にかけて、白色の変色水を認めた。さらに島東海岸から昭和硫黄島に薄緑色で帯状の長さ約1,000mの変色水域を認めた。 硫黄島港内、磯松崎東方向へ約600mの海岸から帯状で南東方向へ長さ約1,000mの範囲、東温泉付近の海岸で茶褐色の変色水域を認めた。 硫黄岳外側火口壁中腹からの白色噴気を確認した。
薩摩硫黄島	2014/ 1 /27	海上保安庁	昭和硫黄島の南側海岸に青白色の変色水域、硫黄島港内及び稲村岳南東方向の海岸から沖合方向約200mに分布する茶褐色の変色水域、東温泉、湯の滝から硫黄岳南側の海岸線に沿って分布する青白色の変色水域(写真9)、さらに前記の変色水域の東側へ連続する硫黄岳南岸から穴の浜までの海岸線を底辺とする三角形の形状で頂点の位置を東方向へ約500mとする範囲に褐色の変色水域(写真10)及び平家城付近の海岸に長さ約300mに渡って分布する青白色の変色水域を認めた。 硫黄岳火口からは白色の噴煙が西方向へ流れている。また、硫黄岳南側の山腹の3カ所及び山頂付近の北側火

場所	年月日	調査機関等	活動状況
			口外壁から白色の噴気を認めた（写真 8）。
薩摩硫黄島	2014/ 1 /28	海上保安庁	熱計測の結果、火口内に高温域を認めるも、特異事象なし。
口永良部島	2013/11/15	第十管区 海上保安本部	新岳火口に白色噴気を確認した。
口永良部島	2014/ 1 /27	海上保安庁	ニシマザキ南側約 1,000mの海岸線付近に長さ約 500mに渡って分布している薄い青白色の変色水域が分布しているのを確認した（写真 11）。 新岳火口内及び古岳火口内に白色の噴気を認めた。新岳の割れ目火口には、噴気等の特異事象を認めず。
口永良部島	2014/ 1 /28	海上保安庁	熱計測の結果、特異事象なし。
口之島	2013/11/15	第十管区 海上保安本部	燃岳山頂付近に噴気及び水蒸気は確認できなかった。 燃岳南西側海岸から口之島東岸の鎌倉崎の南岸の海岸線に薄い青白色の変色水を認めた。
口之島	2014/ 1 /27	海上保安庁	口之島南東側の鎌倉崎南岸に沿って長さ約 1,000mの青白色の変色水域を認めた。 燃岳の南東側の海岸線に長さ約 1,000mに渡って青白色の変色水域が分布しているのを認めた。 燃岳山頂付近の噴気孔に弱い白色噴気を認めた。
口之島	2014/ 1 /28	海上保安庁	熱計測の結果、特異事象なし。
中之島	2013/11/15	第十管区 海上保安本部	御岳山頂付近は雲のため、撮影できなかった。
中之島	2014/ 1 /27	海上保安庁	御岳火口内の 2 カ所及び、御岳東斜面の噴気帯の 3 カ所から白色噴気を認めた。
中之島	2014/ 1 /28	海上保安庁	御岳火口及び御岳東側斜面からの白色噴気を認めた（写真 12）。熱計測の結果、特異事象なし。
諏訪之瀬島	2013/11/15	第十管区 海上保安本部	御岳山頂付近は雲のため、火口付近の調査・撮影ができなかった。南東岸の作地花と切石港の中間付近の海岸線約 200mの場所で沖合に長さ約 300mの明るい薄茶色の変色水域を認めた。東岸の作地鼻北側の海岸約 600mを底辺とし、沖合に半径約 200mの半円形の青白色の変色水域を認めた。
諏訪之瀬島	2014/ 1 /27	海上保安庁	作地鼻付近の海岸に沿って長さ約 300mの褐色の変色水域が分布している（写真 13）。御岳火口内に白色噴気を確認した（写真 14）。
諏訪之瀬島	2014/ 1 /28	海上保安庁	熱計測の結果、火口付近に高温域を認めるも、特異事象なし。
悪石島	2013/11/15	第十管区	山頂付近は雲のため、撮影できなかった。

		海上保安本部	
場所	年月日	調査機関等	活動状況
悪石島	2014/ 1 /27	海上保安庁	変色水域等の特異事象なし。
悪石島	2014/ 1 /28	海上保安庁	熱計測の結果、特異事象なし。
横当島	2013/11/15	第十管区 海上保安本部	島の接合部の北側の海岸線に沿って約200mの青白色の変色水域を確認した。
横当島	2014/ 1 /27	海上保安庁	島の接合部の南側の海岸線に沿って約200mの薄い褐色の変色水域を確認した。 火口付近に噴気・噴煙等を認めず。
横当島	2014/ 1 /28	海上保安庁	島の接合部の南側の海岸線に沿って約200m、南側の海岸線に沿って約400mの薄い褐色の変色水域を確認した。 東峰火口付近及び西峰山頂付近に噴気・噴煙等を認めず。熱計測の結果特異事象なし。
硫黄島	2014/ 1 /25	海上保安庁	硫黄岳火口南西岸に沿って、幅約30m、長さ約100mの薄い青白色の変色水域が分布している。 硫黄岳火口内にごく弱い白色噴気を認めた。グスク火山付近には噴気等の事象は認められず。 熱計測の結果、硫黄岳火口内に高温域を認めたが、その他特異事象はなし。
西表島北北 東海底火山	2013/12/ 5	第十一管区 海上保安本部	特異事象認めず。
西表島北北 東海底火山	2014/ 1 / 1	第十一管区 海上保安本部	特異事象認めず。
西表島北北 東海底火山	2014/ 1 /26	海上保安庁	特異事象認めず。
西表島北北 東海底火山	2014/ 2 / 5	第十一管区 海上保安本部	特異事象認めず。



第 1 図 海域火山位置図

Fig. 1 Location map of submarine volcanoes and volcanic islands



写真 1 西之島付近の噴火活動
2013 年 11 月 20 日 撮影

Photo 1 Volcanic activity with water vapor and black plume, Nishi-no-shima I.



写真 2 西之島付近の新島 火口付近
2013 年 11 月 22 日 撮影

Photo 2 Lava flow and crater, Nishi-no-shima I.

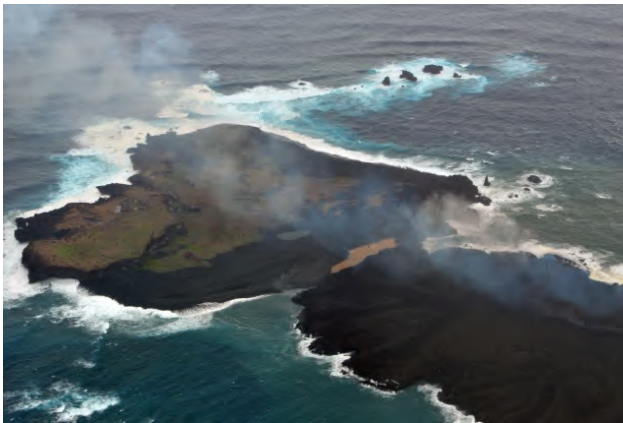


写真 3 西之島との結合
2013 年 12 月 26 日 撮影

Photo 3 Lava flow has reached the island,
Nishi-no-shima I.



写真 4 西之島
2014 年 2 月 11 日 撮影

Photo 4 View of Nishi-no-shima I. as of 11 Feb. 2014



写真 5 福徳岡ノ場の変色水域
2013 年 12 月 16 日 海上自衛隊撮影

Photo 5 Discolored waters of Fukutokuoka-no-ba



写真 6 桜島 昭和火口の噴火
2013 年 11 月 15 日撮影

Photo 6 Volcanic activity with gray plume, at Showa-kako, Sakura-Jima I.



写真7 桜島昭和火口からの噴煙

2014年1月27日撮影

Photo 7 Volcanic activity with gray plume, at Showa-kako, Sakura-Jima I.

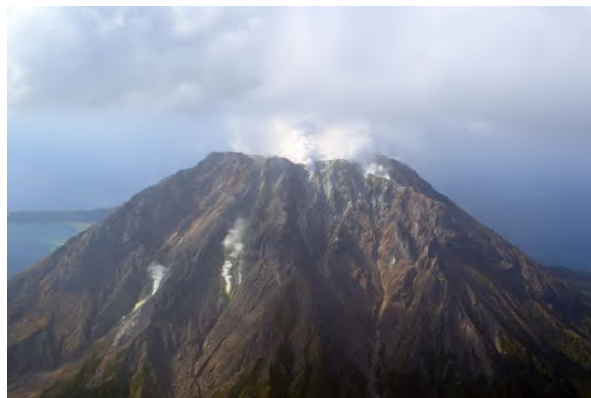


写真8 薩摩硫黄島 硫黄岳山頂付近

2014年1月27日撮影

Photo 8 White fumarolic gas near Mt. Io-dake, Satsuma-Iojima I.



写真9 薩摩硫黄島 南海岸の変色水域

2014年1月27日撮影

Photo 9 Discolored waters of Island's South coast, Satsuma-Iojima I.



写真10 薩摩硫黄島 穴の浜の変色水域

2014年1月27日撮影

Photo 10 Discolored waters of Ananohama, Satsuma-Iojima I.



写真11 口永良部島 新岳火口

2014年1月27日撮影

Photo 11 White fumarolic gas Mt. Shin-dake, Kuchinoerabu-shima I.



写真12 中之島 御岳火口

2014年1月28日撮影

Photo 12 White fumarolic gas Mt. Mi-dake, Nakano-shima I.



写真 13 諏訪之瀬島 作地鼻付近の変色水
2014年1月27日 撮影

Photo 13 Discolored waters in near of Sakuji-hana,
Suwanose-Jima I.

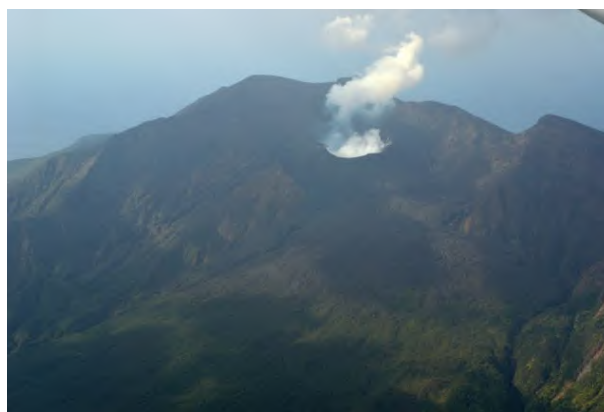


写真 14 諏訪之瀬島 御岳火口
2014年1月27日 撮影

Photo 14 White fumarolic gas at Mt. Mi-Take,
Suwanose-Jima I.